

ー『江別らしい景観』って、どんなもの？ー

● 江別の景観を紹介します

このパンフレットでは、江別市内の良好な都市景観として、都市景観賞を受賞した建物や活動などのほか、身近にある「ランドマーク施設」を紹介します。

都市景観賞は、美しい景観づくりに貢献した建物や活動などを表彰する制度で、これまでに63件が受賞しています。（うち、都市景観奨励賞3件含む）

また、「ランドマーク施設」は、市の補助を受けて自治会や大学などが造った多くの市民が利用できる施設で、皆さんおなじみのバス待合所など13施設があります。それぞれ、れんがを使った特徴的なデザインで、江別らしい景観をつくり出し、地域のシンボルになっています。これらの、美しく江別らしい景観づくりの一役を担っている建物や活動などの紹介を通じて、江別らしい景観を実感していただき、身近なところから景観づくりに参加していただければと思います。



● 江別の景観の特徴

江別のまちは地形上、野幌丘陵とその周辺の低地に大別されます。

野幌丘陵は緑豊かな市街地と自然が残る沢地や段丘地形、開拓以前の名残をとどめた自然豊かな野幌森林公園などが自然景観上の一つの特色となっています。

また、野幌丘陵を取り囲むように広がる低地部には、石狩川をはじめとする大小の河川などの自然景観と開拓時代からの耕地防風林のある農村景観が広がり、江別の風土からつくられた原風景が“江別らしさ”の一つとなっています。

江別の景観の全体図



● 『江別らしい景観』のイメージ

江別の景観は、おもに「自然景観」「歴史景観」「農村景観」「市街地景観」に分けられますが、これらは江別の発展の歴史の中で“江別らしさ”が育まれてきたものです。わたしたちは、これらの景観にいつでもふれることができる恵まれたまちに暮らしています。

「江別らしい景観」とは、これらの景観が調和したものと言えるでしょう。

「江別らしい景観」のイメージ



● 江別らしい景観づくりに参加を！

江別市では、江別らしい景観づくりの“道しるべ”として、「景観形成基本計画（15ページに概要を紹介）」の中で、景観の将来像や市民・事業者・行政の役割、景観を守り・つくり・導くための取組例などを紹介しています。

ぜひご参考にしていただき、住宅や店舗を建てるときやガーデニングなど、身近なところからの景観づくりに参加してみましょう。

そして、子どもたちに暮らして誇りに思う“江別らしい景観”のまちを引き継ぎましょう。